



# せせらぎ



## 社会的検査後のご報告

理事長 田中雅英



11月13日(金)、当法人が運営する、特養「博水の郷」において、世田谷区による新型コロナウイルス(以下、コロナ)の社会的検査を受検しました。その結果、13日(金)から17日(火)にかけて、ご利用者2人を含む、介護職員他合計15人の陽性が判明しました。全員が無症状でしたが、職員は自宅や宿泊施設での療養を求められました。11月末現在、職員は全員復帰し、終息に向かいました。休止していたデイサービスも営業再開をさせていただくことになりました。ご利用者2人もお変わりなく病院から戻られ、発症者が1人も出なかったことが救いです。ご利用者・職員のご家族、地域の皆さま、行政をはじめ福祉関係者の皆さま、たいへんご迷惑とご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

この間、利用者のご家族、区内の施設の皆さまから多くの応援メールや電話をいただきました。直接、施設にたくさんさんのグローブや栄養ドリンクの箱を届けてくださった施設さまもありました。災害支援協定を結んでいる青森の社会福祉法人さまからは大きなリングの箱をいくつも送っていただきました。結局、風評被害を引き起こすような反応は全くありませんでした。

また、区の担当部署が、世田谷区内の全特養へ応援派遣調整の依頼をしてくれました。その結果、4施設から派遣職員の決定通知が区へ届きました。加えて、2施設が非公式に電話により支援表明をしてくれました。崖っぷちに立たされていた介護職員の緊張は限界寸前であり、他施設からの派遣職員の決定はこの上ない朗報になりました。

厳しい人員体制の中、職員が奮闘し、なんとか自力で再出発を迎えることができました。皆さまからたくさんさんのエールを送っていただいたおかげです。職員を代表して心から感謝いたします。紙面を借りて御礼申し上げます。そして、職員の方々の必死に頑張る姿には胸が熱くなりました。たいへんお疲れさまでした。

今後、東京における感染急拡大が危惧されています。先を見通しづらい状況ですが、皆さまのご健康と一日も早いコロナの終息を祈っています。



おみこしワッショイ!!

これからもご利用者の生活に潤いを!! 楽しいイベントを企画していきます!!



バルーンアートはご利用者にプレゼント

10月18日(日)に、博水の郷 施設サービス部主催の『秋祭り』を開催しました。本来であれば、一番大きな行事の法人まつりとして『だんだん祭り』を開催する予定でしたが、コロナ禍にてやむなく中止せざるを得なくなりました。『だんだん祭り』の代わりに何かご利用者が楽しめることを・・・と、職員達でアイデアを出し合いました。

秋の味覚がたたくさん詰まった食事に、皆さま「美味しい!いくらでも食べられちゃう」など、とても満足していただけました。おやつには舟和の芋ようかんを提供しました。「久しぶりに食べたわ」と喜ばれていました。

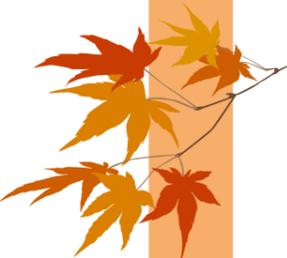


秋の味覚弁当



シャボン玉ショーで職員がすっぽりシャボン玉に入りました。

高齢者支援局 施設サービス部 秋まつり



トピックス JKAから福祉車両の助成



快適に使える福祉車両

8月31日(月)に、公益財団法人JKAの補助事業により購入した車いす対応車(ホンダN-BOX)が納車されました。

特別養護老人ホームご利用者の急な体調不良時に病院への搬送、ショートステイの送迎範囲の拡大、デイサービスの車いす対応での送迎など、各事業所それぞれの事情で新たな福祉車両を切望しており、さっそく業務で活用しております。ご利用下さる皆さまに少しでも安心安全なサービスを提供できるよう、力を尽くしてまいります。



1月の冬の感染症対策について

インフルエンザ・ノロウイルス・ロタウイルスなど感染症が流行する季節です。加えて、今年も新型コロナウイルスへの対策も徹底していきましょう。

職員は朝の検温、手洗い(一処置一手洗い)、マスクの着用を含む咳エチケットを行っています。加えて、栄養のある食事を摂る、適度な睡眠と休息で無理をしないなど、身体面・精神面の衛生管理についても伝えるようにしています。ご利用者にとって要注意の時期です。ご利用者の安全第一を念頭に、法人職員一同協力して乗り切ってまいります。



どのように感染するの? 空気感染で感染する?

コロナウイルスはどのような経路で感染するのでしょうか。

現時点では、**接触感染**と**飛沫感染**が新型コロナウイルスの感染経路として考えられています。

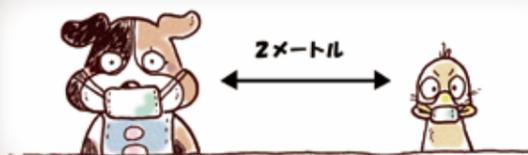
**接触感染**とは、感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、自らの手で周りの物に触れ、その場所に感染していない方が触れ、さらにその手で口や鼻などに触れることで、体内にウイルスを取り込んでしまい感染が確立するという経路です。接触感染の経路となりやすいのは、屋内ですとドアノブや電気のスイッチ、屋外では、バスや電車のつり革やエスカレーターや階段の手すりです。手にウイルスが付着してもすぐに手を洗うことができれば、接触感染は確立し

せん。ですが上記のような場所を触れた後にすぐに手を洗うなどの対策に講じることはなかなか難しく、結果として感染を確立させてしまう傾向にあります。



**飛沫感染**とは、くしゃみや咳、唾液など感染者の飛沫と一緒にウイルスが放出され、まだ感染をしていない方がそのウイルスを口や鼻から吸い込んで感染します。咳を1回すると約10万個のウイルスが約2m飛ぶといわれています。また、1回のくしゃみでウイルスは約3m飛ぶ

といわれていますがその速さは時速約300Kmといわれています。厚生労働省は2m以上の距離をとって過ごすことを推奨していますが、これだけの距離を保ったとしても、感染者が未感染者に向かって咳やくしゃみをしてしまえばウイルスに感染する可能性は極めて高いと考えられます。屋内などで、お互いの距離が十分に確保できない状況で一定時間を過ごすときは特に注意が必要でしょう。



季節が変わり気温が下がってきましたが、一定の換気も有効な予防策になります。食事をする前に換気し、終わったら換気、定期的な換気を心掛けていきましょう。





▲牡蠣の食べ放題

▲8番ラーメン

# 石川県

施設サービス部 介護課 下出 瞳子

こんにちは！私のお国自慢は、出身地の石川県です！北陸新幹線が開通してからは、金沢に観光旅行として訪れる方も多くなりましたね。

実は、金沢の有名な観光名所は、市内バス一周で回れてしまう程に市内の中心に集まっているんです。初めて訪れる方であれば、【市内バス1日フリーパス】をお勧めします。「兼六園」や「金沢城」、「近江町市場」「東茶屋街」「21世紀美術館」などの有名スポットも簡単に回ることができます。その他、記念館や美術館などの入館料も割引されますのでお得です！

そして皆さんご存知の金沢グルメといえば、近江町の「海鮮」や蟹面などの「金沢おでん」というイメージが強いのではないのでしょうか？B級グルメだと「金沢カレー」も東京で食べられる程有名ですね。私のいち押しは「8番ラーメン」です！金沢の真のソウルフードと言えると思います。金沢の人なら「8番のラーメンが食べたい！」と恋しくなったことが一度はあるはず…。是非ご賞味ください！

石川県には、朝ドラ「あまちゃん」でも有名になった能登半島もあります。能登のおすすめスポットは、「牡蠣の食べ放題」と「能登ミルク」です。能登は岩牡蠣が有名で、食べ放題が色々なお店で行われています。寒い時期になると野外にずらっと並んだ炭火コーナーで牡蠣を味わえる、「雪中ジャンボかきまつり」も開催されます。「能登ミルク」は地乳を使ったジェラート屋さんで、今若者に人気のお店です。



食べ物の話ばかりになりましたが、みなさん石川県に遊びに来た際には、是非おいしい物をたくさん食べていってください！



▼東海道本線と東名高速と国道1号線と駿河湾と富士山

# 静岡県

事務部 事務課 清水 邦元

18歳で東京に出てきたとき言われたことがあった。「静岡ってお茶畑とミカン農家ばかりで、電話線通っているの？」と。私の育った静岡県静岡市鷹匠町は、街中で静岡駅にも繁華街にも歩いて10分ほど。ミカン農家もお茶畑もないところなので、東京や横浜に住んでいる人たちの静岡のイメージは、ただのド田舎なのだと生まれて初めて知った。（もちろんミカン農家やお茶畑やイチゴ狩りも、幼いころから慣れ親しんだ風景だ。）

東海道本線と東名高速と国道1号線と駿河湾と富士山。日本を象徴する風景を一望できる風景も静岡にある。そんな静岡で育った私の中学校時代は、野球に熱を上げ（ちなみに学年は違うが三浦和良、泰年と同じ中学校である）、高校時代はバンド、バイト、バイクの日々。静波海岸や御前崎でサーフィン、伊豆でシュノーケリング、富士山の麓でキャンプ。何もなかったころだと思っていたが、振り返るといいところである。

1990年ちびまる子ちゃんの放送開始。1993年はJリーグが発足し、クラブチームが清水と磐田にできた。もともとサッカーが盛んな地域だが、1994年や1998年のワールドカップサッカーの日本代表選手の多くが静岡県出身者で、それまでにない生まれ育った静岡への愛を感じた。2020年、静岡のJリーグチームの現状は、優勝争いには程遠い…。

「電話線通っているの？」と聞いてきた、東京の彼女の家に遊びに行ったことがある。駅から30分ほど歩いたそこには、住宅地の周りに大根畑がひろがっていた…。

## 日本全国 出身地紹介 職員のお国自慢

聞いてよ

### 第5回 中部・北陸地方

法人職員の出身地を、地元の暮らし、お勧めの食べもの、子供の頃のエピソードなどと共に紹介する連載コーナーです。



# 静岡県

施設サービス部 相談支援課 上田 晶子

私のふるさは、静岡県下田市という伊豆半島の先端、現在は過疎地域に指定されている田舎町です。温泉源が豊富で、現在はほとんどが潰れてしまいましたが、温泉宿が立ち並び、肉屋さん、魚屋さん、雑貨屋さん、床屋さんや美容院、八百屋さん、薬屋さん、お食事処、そして無料の大きなプールなど、たくさん施設があり、生活に困らない地域でした。

私が育った蓮台寺は、昔々鉱山採掘によって栄えていた地域です。幼いころは外で宝石のようにキラキラとした石を拾って集めたりしていました。「宝石ではないよね？」と友達と話していましたが、今思えばあれは鉱山採掘の名残で、鉱物が落ちていたのだと思います。

今も残る蓮台寺の有名スポットは、湯の華小径という散歩道にある「吉田松陰の隠れ家」です。明治維新の立役者吉田松陰がひっそりと身を隠していたという小さな家が残されています。この家は幕末好きな方を下田に呼んでくれる大切な文化財です。また同じ小径から



▲吉田松陰先生の隠れ家



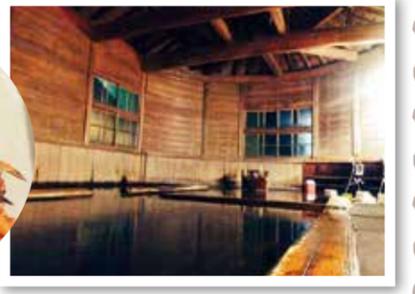
▲小径から眺める蓮台寺



▲黒船祭り



▲海の幸と温泉



登っていく小さな神社には、サキタマヒメという安産の神様が祀られており、私はここから眺める小さな蓮台寺が大好きでした。

下田の中でも蓮台寺にスポットを当てましたが、下田市にはヒリゾ浜というきれいな海や、5月に催される黒船祭りなど楽しい行事や素敵な場所がたくさんあります。ぜひ一度静岡県下田市に足を運んでみてください。

## レポート1 玉福 日帰り旅行

今年は新型コロナウイルスの影響で、宿泊行事は中止になり、小グループに分かれての日帰り旅行に変更になりました。それぞれが行きたい場所を選んで、4つのグループに分かれました。10月は2つのグループがそれぞれ浅草と柴又に行きました。

浅草コースは消防博物館に行った後、昼食は浅草ビューホテルのランチバイキングでした。ワゴンサービスで、それぞれが好きな物を好きなだけ盛り付けてもらい、スカイツリーを見ながらの優雅なランチに皆大満足でした。ランチ後はさらに2つのチームに分かれて浅草寺と仲見世でショッピングと雷おこし体験をしました。

今回の旅行は、GO TO キャンペーンを利用できたので、チケットを使ってお得に買い物が出来ました。雷おこし体験では、予想以上にみんなの手際がよく、インストラクターの方も驚かされていました。作った雷おこしは家族へのお土産になり、とても美味しかったと好評でした。

### 玉福本園



寅さんと記念写真をパチリ

柴又コースはお天気恵まれ、当日は絶好の旅行日和！ほかほか天気の中、柴又帝釈天観光、参道での食べ歩き、昼食には「孤独のグルメ」にも出ていた「魚びす家」で美味いうなぎや天ぷらを堪能しました。最後は江戸風鈴の絵付けをしたのですが、集中して描いた風鈴はどれもステキな音色を響かせていました。世界にひとつだけの風鈴をお土産に、楽しい旅行となりました。

### 等々力分場



スカイツリーのガラス床はスリル満点！

10月16日と23日で感染症対策を万全にし、外出に行きました。東京スカイツリーを見学し、皇居で昼食、浅草から水上バスに乗って品川と東京観光をしてきました。なかなか東京をめぐることもないので、いい機会となりました。コロナ対策でどこもかしこも消毒・検温でしたが、観光客も少なく、密になることもなくゆったり過ごせました。久しぶりの外出で笑顔があふれていました。楽しみと息抜きって必要なことと実感しました。



ソラカラちゃんが  
出迎えてくれました。

## レポート2 世田谷特養施設長会主催「おしごとフェア」について

10月3日(土)、今年で3回目になります世田谷特養施設長会主催の就職フェアを開催し、世田谷区内の23施設が参加しました。介護業界は、人が足りていないのに自らは動き出さず「自分たちで取り組んでいない」のです。そこで、2年前に初めて自分達主催の就職フェアを開催しました。

今回は、今までの経験を活かし「世田谷区」と「ハローワーク」に早めに連絡を取り協力することができ、119名の参加者がありました。各施設のブースは、とても賑わい熱気に溢れていました。現在、面接や試験を行っているところで、何名の入職につながるか楽しみです。「待っているだけでは、人はこない！」です。



## 創立記念式典を開催しました！

9月に「デイサービス博水の郷」は創立18周年、「喜多見だんちデイ」は9周年、「タガヤセ大蔵デイ」は6周年を迎えました。これもひとえにご利用者の皆さま、支えて下さるご家族、地域の皆さまのおかげと感謝しております。当日は職員が正装し、ご利用者の皆さまに感謝の気持ちを伝える手紙を読みました。ご利用者からは「おめでとう」「これからも頑張ってください」と励ましのお言葉をいただき、職員一同の引きしまる思いとともに、これからもご利用者の笑顔のために努めて参りたいと気持ちを新たにしました。

デイサービス博水の郷



タガヤセ大蔵デイ



喜多見だんちデイ



今日のメニューは近くの「ハンバーグレストラン」のボリューム満点弁当です。担当職員がイラストを描き選んでもらいました。外食メニューも「おうちで食べる」ってことでですね。

障害者グループホーム「ホームいろえんぴつ」はコロナ禍になり、新しい生活様式を進めています。一斉に集まることを避けながら、食事など密にならないよう飛沫拡散防止パネルを設置いたしました。

### 飛沫拡散防止パネル設置でハンバーグ！



### 大三島育徳会

## ホームページリニューアルオープン！

9月28日(月)に、法人のホームページを全面リニューアルしました。

大三島育徳会のホームページは、ソフトだけ購入し、ページの作成、更新などの管理はすべて職員で行っている、手作りのものとなっています。

そのため、プロが作成しているホームページと比べると見劣りしてしまうのは否めないのですが、自分たちが日々行っていること、感じていることを自身で発信できるのは大三島育徳会だけの魅力と考えています。

とはいえ、10年近く同じソフトを使い続けてきて



いたので、ソフト自体の機能やセキュリティ面も考慮し、この度のリニューアルとなりました。

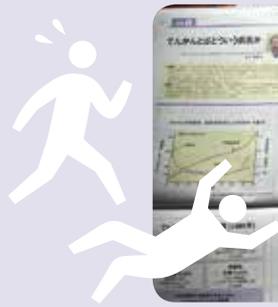
今度も自分たちで作っていくホームページで情報を発信してまいりますので、是非ともご覧ください。



## ◆てんかん基礎講座に参加して◆

8月20日～21日、日本てんかん協会が主催する「てんかん研修」に行ってきました。年1回東京と大阪で実施される基礎講座であり、東京会場は毎年800名程の参加者であると聞きましたが、今年はコロナの影響もあり半分ほどの人数でソーシャルディスタンスもしっかり取れていました。

てんかんとは脳の病気であり、子供だけでなく高齢になっても発症することが分かりました。またてんかんという言葉は聞いたことがありますが、実際に目にしたことはほとんどなく、いろえんぴつで働き始めてから身近に感じるようになりました。研修を受けたことで、このてんかんという病気がどのような原因で発症するのか理解でき、発作時の対応については先生とスタッフの方々に間違った対応（行動を制限する声掛けや大声で話しかける）と、正しい対応（騒がずに安全確保、複数名で介助するなど）など両方を実演していただき、より自分の中で対応方法がイメージできました。



発作時の介助を講義してくれた先生は「発作やけいれんは出会えば誰でも慌てます」と話され、いろえんぴつで起きた際には落ち着いて、対応できるようにしていきたいと思います。薬や発達障害・精神障害とのつながりについての専門用語に難しさを感じる事も多かったですが、普段では聞くことのできない話だったので講義を受けられて良かったです。今後は日々の仕事の中で活かしていきたいと思いました。

(K.T., Y.R)

## ◆玉川福祉作業所 irodori 商品紹介◆



玉川福祉作業所の自主生産商品ブランド irodori で、人気のあるコラージュバッグをご紹介します。日々ちくちくと刺した刺繍パーツをコラージュして、バッグに仕立てています。自由にちくちくして、自由に組み合わせ、世界で一つのバッグが出来上がります。



## 法人寄附について

大三島育徳会は、多くの皆さまから様々な寄附品や寄附金を頂戴しております。数ある法人の中から、当法人を選んで下さったことに、深く感謝申し上げます。いただいた御寄附は、法人運営に活用させていただいています。

特に今回の新型コロナウイルス感染症対応期間に、ご利用者家族、地域の皆さま、近隣施設の皆さま、災害支援協定を結んでいる青森の社会福祉法人さま、世田谷区などから、マスクや手袋、消毒液、りんごなど、たくさんのご厚志を頂戴しました。本当にありがとうございました。



### ◆寄附品のお礼◆

社会福祉法人道友会様 (青森県八戸市)  
NTSC 西村技術サービス 西村義孝様 (京都府宇治市)  
株式会社アイプランニング様 (岡山県岡山市)  
匿名希望 1名  
貴重なご厚志ありがとうございました。  
(令和2年7月～令和2年12月)

## せせらぎ 第14号

発行日 2020(令和2)年12月25日  
発行者 せせらぎ広報編集委員会  
発行所 社会福祉法人 大三島育徳会  
〒157-0077 世田谷区鎌田3-16-6  
TEL 03-5491-0340  
FAX 03-5491-0343  
<http://www.oomishima.jp/>

「使用した掲載写真は、ご本人とご家族・関係者の同意を得ております」

## 編集後記

介護事業所等を対象としたPCR検査(社会的検査)の結果により、ご心配とご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

今年の流行語大賞が「3密」に決定しました。感染症対応期間中は、密になることが当たり前前の介護の方法や考え方を一変させる対応となり、様々なことを考えました。ご利用者には、ご不便と不安を感じる日々となったと思われます。そんな中でも職員は、大量の汗をかきながら笑顔を忘れず対応してくれていましたこと、お伝えさせていただきます。引き続き、ご利用者の生活スペースであることを忘れず、楽しみを提供しながら更に感染症対策を強化してまいります。(Y)